



たかやま とうよし
高山豊吉

大雨による自然災害への対応は

～ 不安解消に努めた～

質

本年6月下旬以降、豪雨の影響で豊後大野市でも大きな被害が出たが、その被害の状況は。

答 市長

住宅被害のうち全壊は1棟、浸水被害のうち床上8棟、床下9棟で、住宅被害の計は18世帯46人となります。

質

農地や道路などのライフラインの復旧に向けての方針などは。

答 市長

市道および市が管理している河川については、9月、10月に災害査定を受け、予算の配分があれば、全てを年度内に発注する予定であります。

答 市長

経済的な支援とは別に、災害直後に床上床下浸水住宅への消毒作業や保健師による被災者の健康チェックなどを実施しました。

質

被災者への支援、補助制度の適用は。

質

福門橋の復元などの地元の要望に、どのように対応するのか。

答 社会教育課長

「石橋の文化財指定基準」を文化財保護審議会で検討し、指定基準の規定後は所有者と協議を進めてまいりたいと考えます。

質

ジオパークの認定に積極的に取り組むべきでは。

答 商工観光課長

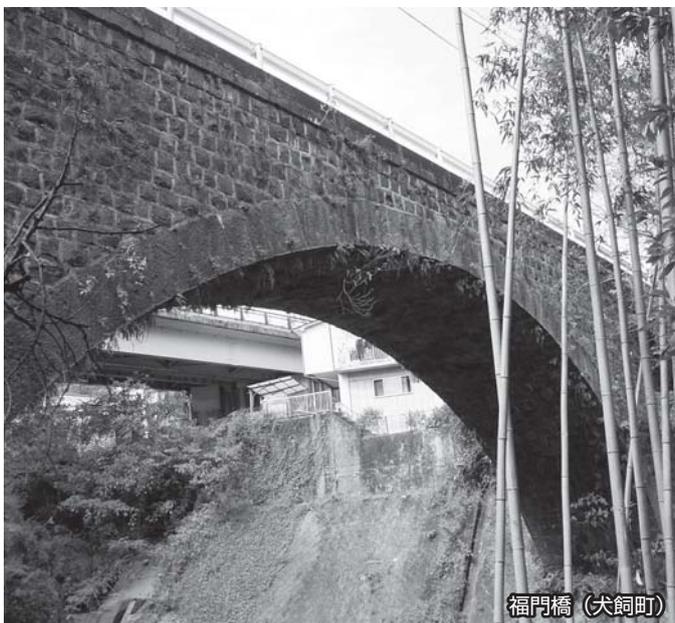
平成25年9月の日本ジオパーク認定に向け、事業に取り組んでいるところです。

身近な資源を生かして地域に光を

※ジオパーク認定に向けた事業に取り組む

9月13日から犬飼町を皮切りに市内7カ所で、市民の皆さまを対象にした「ジオパーク公開講座」を開催いたします。

また、11月17日には、ジオフォーラムの開催を予定しており、さらに、ジオサイト解説板も計画的に設置してまいります。



福門橋 (犬飼町)

※ジオパーク＝地球活動の遺産を見る大地の公園

リハビリ効果を上げよ

～ スタッフの充実を図る ～



わたなべ かず ふみ
渡 辺 一 文

質

患者数に対し、リハビリで使用する器具が不足しているように感じられ、そのため、リハビリに要する時間も短いように感じる。

多くの患者の早期回復のため、リハビリ用器具などを増やしてはどうか。

答 病院事業管理者

市民病院のリハビリテーション診療につきましては、患者の機能回復を図り、社会復帰を目指す重要な診療機能と認識し対応しています。病院統合に際しても、機能の充実を図る目的で言語聴覚士1人を増員しました。

また、リハビリ訓練につきましては、医師の指示に基づき、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士がそれぞれ運動機能訓練、日常生活訓練、言語・摂食訓練を行っています。

リハビリを実施する際には、人的要件・部屋要件・器具要件など施設基準が決められており、例えば、患者に20分・1単位訓練で18人まで、40分・2単位訓練で9人までが1人で対応可能な患者数となります。

市民病院の理学・作業療法士3人の場合、20分ずつ訓練して54人まで、やや長く40分ずつ訓練すると27人までが1日に対応できる患者数となります。

リハビリ効果を上げて、できるだけ早く在宅復帰できるように努力することは、市民病院としての役割と認識しています。

スタッフの充実が第一であり、これにつきましては、現在、市民病院の検討課題として位置付けており、同時に器械器具につきましても必要性を考慮し、整備してまいります。



市民病院のリハビリテーション

※その他の質問
・通学路について
・今年の大災害について
・建設業の置かれている現状について